

箱根町記者発表資料

令和5年救急業務活動状況について

1 内容

令和5年中における当町の救急業務活動状況を取りまとめましたので、発表いたします。

2 周知方法

別紙「令和5年救急業務活動状況」の送付

照会先

箱根町消防署 警備課 救急係 電 話 0460-82-4511

E-mail shoubousho@town. hakone. kanagawa. jp

令和5年

(令和5年1月1日~令和5年12月31日)

救急業務活動状況

箱根町消防署

箱根町民憲章

制定 平成8年7月23日

箱根は、富士を映す名鏡芦ノ湖や美しい山なみなど、豊かな自然と古い 歴史の中で培われた文化遺産と力強い産業を持つ国際観光地です。

わたくしたちは、この恵みに感謝し、互いに助け合い、人々の幸せと、 世界の平和に尽くすことのできる町づくりを目ざして、ここに町民憲章を 定めます。

- 1 ふれあいを大切にし、笑顔で「ありがとう」と言える人になりましょう。
- 2 健康で働くことをよろこび、思いやりの心を育て、明るい家庭を築きましょう。
- 3 責任あるみんなの発言と行動によって、活力のある住みよい町をつくりま しょう。
- 4 豊かな自然と文化を守り、育て、次の世代に伝えましょう。
- 5 国際感覚を養い、世界の平和に貢献しましょう。

箱根町健康都市宣言

私たちは、恵まれた自然の中にあって、健康の大切さを実感し、生涯を通じて健康づくりに努め、心豊かな生活を営むことをここに宣言します。

- 一、自分の体力にあった運動を続けましょう
- 一、 バランスのとれた食生活に努めましょう
- 一、 確かな予防と健康診断に心がけましょう
- 一、 恵まれた温泉資源を活かしましょう
- 一、美しい豊かな自然とふれあいましょう

健康づくりは、町に住まう、町で働く、町を訪ねる皆さん一人ひとりが主人 公です。

個人、家族、職場、地域が連携して「健康づくりの大きな輪」を広げましょう。

平成18年9月30日

箱 根 町

表 目 次

		頁)
表1	事故種別総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
表 2	過去5年間の救急活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
表3	月別救急出動件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
表4	月別搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
表 5	出動隊別救急出動件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
表6	居住地区別搬送状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
表 7	行政地区別救急活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
表8	時間帯別救急出動件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
表 9	傷病程度別搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
表 10	応急処置実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
表 11	救急救命処置実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
表 12	転送状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
表 13	不搬送理由別件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
表 14	ドクターへリコプター運用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
表 15	新型コロナウィルス感染症感染者の行政地区・月別搬送状況・・・	20

〈はじめに〉

この「救急業務活動状況」は、令和5年(令和5年1月1日~令和5年12月31日)に箱根町管内(消防相互応援協定に基づく管轄外出動を含む。)で発生した救急事案について、その活動の状況を集計したものであり、当町の救急業務活動を紹介することを目的として編集したものです。

〈概 況〉

当町の人口は、10,941人(令和5年12月1日現在)ですが、「国際観光地箱根」の特徴として人口を遥かに超える数の人が来町されます。そのため、流動人口を勘案し、当消防本部では町内に4隊の救急隊を配備し、安全・安心なまちづくりに寄与しております。

当町の救急業務は、昭和44年に開始して以来、社会経済の発展とともに救急出動件数は年々増加の傾向をたどり、平成19年には過去最高の救急出動件数(2,350件)及び搬送人員(2,294人)を記録しました。その後は増減を繰り返し、令和2年と令和3年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う観光客数減少の影響を受けて減少しましたが、令和4年から増加傾向となり、令和5年は、救急出動件数2,018件(前年比179件の増加)、搬送人員1,824人(前年比136人の増加)となりました。これは、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症(インフルエンザウイルス感染症などと同類)とされたことで、感染症分類移行前に比べ、観光客数が増加したことなどによるものと思われます。

1 事故種別総括表

(表1·P7)

表1は、事故種別ごとに出動件数・搬送人員・不搬送件数を前年と比較したものです。 出動件数は179件、搬送人員は136人、不搬送件数は50件の増加となり、事故種別の割合 としては、出動件数及び搬送人員ともに、急病が約6割を占めており、続いて一般負傷、 交通の順となっています。

2 過去5年間の救急活動状況

(表2・P8)

表2は、過去5年間の救急活動の推移を表したものです。

救急出動件数は平成 30 年に 2,000 件を超えていましたが、令和元年は 1,914 件と 2,000 件を下回り、令和 2 年から令和 3 年にかけ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、観光客数減少の影響を受け減少傾向が続きました。令和 5 年は、出動件数 2,018 件(前年比 179 件の増加)、搬送人員 1,824 人(前年比 136 人の増加)と過去 2 年間を上回っています。

事故種別出動件数では、過去5年間いずれも急病が多く、次いで一般負傷、交通の順と なっています。

3 月別救急出動件数

(表3·P9)

表3は、救急出動件数を月別に示し、事故種別及び行政地区別に表したものです。最も多い月は8月の226件で、最も少ない月は2月の118件でした。事故種別では、急病・一般負傷・交通、いずれも8月が最も多く、急病141件、一般負傷60件、交通19件となっています。最も多い行政地区別では、仙石原地区が560件で最も多く、次いで湯本地区が529件、宮城野地区が496件、温泉地区が234件となり、最も少ないのは箱根地区の188件でした。

4 月別搬送人員

(表4·P10)

表4は、搬送人員を月別に示し、事故種別及び行政地区別で表したものです。最も多い

月は8月の202人で、最も少ない月は2月の98人でした。事故種別では、急病・一般負傷・交通、いずれも8月が最も多く、急病124件、一般負傷52件、交通20件となっています。 行政地区別では、湯本地区が487人で最も多く、次いで仙石原地区が485人、宮城野地区が461人、温泉地区が210人、最も少ないのは箱根地区の170人でした。月別では湯本地区は10月、温泉地区は10月、宮城野地区は8月、仙石原地区は8月、箱根地区は7月が最も多くなっています。

5 出動隊別救急出動件数

(表5・P11)

表 5 は、当町の救急隊(4 隊)の出動隊別の救急出動件数を月別及び事故種別で表したものです。主に温泉・宮城野地区を管轄する本署救急隊が685件と最も多く、次いで、仙石原救急隊の598件、湯本救急隊の503件、箱根救急隊の230件、その他2件の順となっています。

月別では、本署救急隊・仙石原救急隊・箱根救急隊いずれも 8 月が最も多く、湯本救急隊は 10 月が最も多くなっています。

その他の2件は、救急車が全隊(4台)出動中に救急要請があった場合や新型コロナウイルスワクチン接種会場の警備中にワクチン接種後に体調不良となった傷病者を非常用救急車で救急搬送した事案です。

6 居住地区別搬送状況

(表 6 · P12)

表6は、居住者及び観光客等の居住地区別の搬送人員を月別及び事故種別で表したものです。居住地区別では、管内(町内)居住者は682人、管外(観光客及び観光客以外)居住者は1,051人で管外居住者の搬送は管内(町内)居住者のおおよそ1.5倍になっており、観光客の占める割合は全体の45%、居住者の割合が37%となっています。管内居住者は10月の75人が最も多く、2月が40人と最も少なくなっています。観光客は8月が93人と最も多く、2月が39人と最も少なくなっています。また、事故種別では、居住地区別に関係なく急病が最も多くなっています。

7 行政地区別救急活動状況 (表7・P13)

表7は、行政地区(湯本・温泉・宮城野・仙石原・箱根・管轄外)別の救急出動件数及び搬送人員を事故種別で表したものです。各地区共通して出動件数が最も多いのは、急病となっており、次いで一般負傷、交通の順となっています。急病が最も多いのは湯本地区の359件、一般負傷の出動件数が最も多いのは仙石原地区で130件、交通の出動件数が最も多いのは湯本地区で36件となっています。搬送人員についても各地区共通して最も多いのは急病となっており、次いで一般負傷、交通の順となっています。急病が最も多いのは湯本地区で320人、一般負傷は仙石原地区で119人、交通は湯本地区で45人となっています。。

8 時間帯別救急出動件数 (表8・P14)

表 8 は、救急出動件数を時間帯 (2 時間ごと) 別に示し、事故種別ごとに表したものです。 最も多い時間帯は 10 時~12 時の 250 件、次いで 12 時~14 時の 229 件、14 時~16 時の 222 件、18 時~20 時の 221 件の順となっています。事故種別では、急病は 8 時~10 時が最も 多く、一般負傷は 16 時~18 時、交通は 14 時~16 時がそれぞれ多い時間帯となっています。

9 傷病程度別搬送人員 (表 9 · P 15)

表 9 は、搬送人員の傷病程度を事故種別及び年齢区分別に表したものです。入院加療を要しない軽症が 1,098 人で最も多く、全体の約 6 割を占めています。また、年齢区分別では、高齢者(65 歳以上)919 人と、成人(18 歳~64 歳)699 人で全体の約 8 割強を占め、高齢者(65 歳以上)では入院を要する中等症や重症の比率が他の年齢層と比べて高くなっています。

10 応急処置実施状況 (表 10・P 16)

表 10 は、救急隊員が実施した応急処置の状況を事故種別ごとに表したものです。救急隊 が搬送した傷病者に対して行われた応急処置件数は、延べ8,744件で、このうち最も多い 応急処置は、その他(検温・検眼・冷却など)の1,818件となっています。

11 救急救命処置実施状況

(表 11・P16)

表 11 は、救急救命士が実施した救急救命処置(器具を用いた気道確保、静脈路確保、薬 剤投与) の実施状況を表したものです。このうち気道確保は32人、静脈路確保は48人、 薬剤投与は28人に対して実施しました。事故種別では急病が最も多く、曜日別では日曜日、 時間帯別では午後(12時から0時)、性別では男性、年齢区分では80歳以上の高齢者が多 くなっています。

12 転送状況

(表 12 · P17)

表 12 は、転送(救急車に収容した傷病者を医療機関に収容後、同一傷病者を他の医療機 関へ搬送)の回数及びその理由を事故種別ごとに表したものです。転送があった救急事案 の10件のうち転送回数はすべて1回で、事故種別は、急病が6件、一般負傷が3件、加害 が1件となっています。

13 不搬送理由別件数 (表13·P18)

表 13 は、不搬送(通報により救急隊が出動したが傷病者を搬送しなかった場合)の件数 をその理由及び事故種別ごとに表したものです。最も多い理由は、拒否の 128 件で、次い で辞退(到着後)の50件となっています。また、事故種別では急病の166件が最も多くな っています。

14 ドクターへリコプター運用状況 (表 14・P 19)

表 14 は、神奈川県ドクターへリ運航調整委員会が運用し、東海大学医学部付属病院(伊勢原市)の医師・看護師が同乗するヘリコプター(ドクターへリコプター)による当町の運用状況を表したものです。ドクターへリコプター要請件数は 29 件で、搬送人員は 28 人でした。(ヘリ到着後に傷病者が新型コロナウイルス感染症陽性であったことから陸路搬送となった事案が 1 件)

事故種別では急病の21件が最も多く、発生地区別では温泉と仙石原地区が8件で最も多く、最も少なかったのは箱根地区の1件でした。離着陸場別では東方之光駐車場(宮城野地区)が11件、発生月別では5、6月の4件が最も多くなっています。居住地区別では管内居住者11人、管外居住者16人となっています。

15 新型コロナウイルス感染症感染者の行政地区・月別搬送状況 (表 15・P 20)

表 15 は、新型コロナウイルス感染症感染者の行政地区・月別搬送人員数を表したものです。最も多い月は、7・9 月の 12 人、次いで 8 月の 11 人、1 月の 10 人となっています。

行政地区別では、仙石原及び箱根地区が最も多く 14 人、次いで湯本及び宮城野地区 の 12 人、温泉地区の 8 人となっており、全体としては約 62%が管内居住者の搬送となっています。

令和5年(令和5年1月~令和5年12月)救急活動状況

表1 事故種別総括表

(▲…減)

		区 分	出	動件	数		搬	送人	員	不 掬 ^{(出動}	设 送 作 動件数の内	‡ 数 ^(数)
事故	:種別		合 計 (件)	比率(%)		比(件) }・減	合 計 (人)	比率(%)	前年比(人) 増・減	合 計 (件)	比率(%)	前年比(件) 増・減
,	合	計	2,018			179	1,824		136	229	100.0	50
	火	災	1	0.1	A	1	2	0.1				
自	然	災害										
,	水	難			A	2			1			1
:	交	通	114	5.6	A	18	126	6.9	▲ 19	11	4.8	2
労	働	災害	41	2.0			40	2.2		1	0.4	
運	動	競技	9	0.4		6	9	0.5	6			
	般	負傷	489	24.2		26	453	24.8	12	39	17.0	14
	加	害	3	0.2	A	6	3	0.2	▲ 6			1
自	損	行 為	3	0.2	•	7	3	0.2	▲ 3			4
	急	病	1,311	65.0		188	1,153	63.2	157	166	72.5	37
	転	院搬送	37	1.8	•	9	35	1.9	▲ 10	2	0.9	1
その	医	師搬送										
他	資 ł 納	器材等 改送										
	そ	の他	10	0.5		2				10	4.4	2

表2 過去5年間の救急活動状況

【総括表】 (▲…減)

						(
区分年別	出動件数	前年比	搬送人員	前年比	不搬送	前年比
十	(件)	(件)	(人)	(人)	(件)	(件)
令和元年	1,914	▲ 117	1,829	▲ 104	119	▲ 18
令和2年	1,462	▲ 452	1,359	▲ 470	119	
令和3年	1,380	▲ 82	1,272	▲ 87	135	16
令和4年	1,839	459	1,688	416	179	44
令和5年	2,018	179	1,824	136	229	50

【事故種別出動件数】 (件)

年 別事故種別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
合 計	1,914	1,462	1,380	1,839	2,018
火 災	1	1		2	1
自然災害	1				
水 難			3	2	
交 通	136	123	125	132	114
労働災害	46	30	27	41	41
運動競技	1	1	1	3	9
一般負傷	472	339	353	463	489
加害	7	2	5	9	3
自損行為	16	12	12	10	3
急病	1,197	931	823	1,123	1,311
その他	37	23	31	54	47

表3 月別救急出動件数

【事故種別】 (件)

上 尹 以 性。	ניכ 📗													(14)
月另事故種別	合	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	2,0	018	155	118	169	152	144	141	177	226	177	193	179	187
火 災		1						1						
自然災害	<u> </u>													
水難														
交 通		114	3	6	11	9	5	9	8	19	9	10	11	14
労働災害	<u> </u>	41	2	3	4	5	5	2	2	2	3	4	3	6
運動競技	Ę	9			1	1			2	1	1		3	
一般負傷	 対	489	41	20	39	36	37	39	37	60	38	56	42	44
加害		3							2					1
自損行為	为	3					1			1	1			
急病	1,3	311	106	85	108	98	92	84	121	141	119	121	117	119
その他	1	47	3	4	6	3	4	6	5	2	6	2	3	3

【行政地区別】 (件)

行政地区	別	合	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	 	2,	,018	155	118	169	152	144	141	177	226	177	193	179	187
湯本	1		529	45	35	44	34	47	40	44	49	40	62	47	42
温泉	į.		234	22	7	24	19	13	16	18	28	20	23	21	23
宮城里	野		496	35	32	40	39	27	41	46	59	44	38	45	50
仙石原	亰		560	38	36	51	43	42	37	43	62	59	49	53	47
箱根	Ę		188	15	7	9	15	15	7	24	27	14	21	12	22
管轄外	外		11	_	1	1	2	_		2	1			1	3

※「管轄外」とは、救急出動現場が通報内容と違い管轄外であったもの

表4 月別搬送人員

【事故種別】 (人)

1 尹以俚	73.1												
月 S 事故種別	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	1,824	133	98	151	146	132	132	169	202	156	176	155	174
火 災	2						2						
自然災害													
水 難													
交 通	126	3	3	13	12	4	11	10	20	11	13	11	15
労働災害	手 40	2	3	4	5	5	1	2	2	3	4	3	6
運動競技	支 9			1	1			2	1	1		3	
一般負債	易 453	35	17	36	34	35	39	36	52	37	49	41	42
加害	3							2					1
自損行為	3					1			1	1			
急病	1,153	90	72	93	92	83	74	114	124	100	108	95	108
その他	35	3	3	4	2	4	5	3	2	3	2	2	2

【行政地区別】 (人)

行政地区	月別	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合	計	1,824	133	98	151	146	132	132	169	202	156	176	155	174
湯	本	487	38	26	40	34	43	38	43	45	40	62	39	39
温	泉	210	20	6	17	18	13	17	19	22	16	22	19	21
宮坂	成 野	461	30	31	38	37	25	40	43	53	43	33	41	47
仙石	5原	485	35	31	46	42	37	32	36	57	44	39	44	42
箱	根	170	10	4	9	13	14	5	25	24	13	20	11	22
管車	害外	11			1	2			3	1			1	3

^{※「}管轄外」とは、救急出動現場が通報内容と違い管轄外であったが搬送したもの

表5 出動隊別救急出動件数

【月 別】 (件)

7/1 //1													(117
月別出動隊別	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	2,018	155	118	169	152	144	141	177	226	177	193	179	187
本署救急隊	685	49	41	59	53	40	55	58	82	58	57	61	72
湯本救急隊	503	44	36	43	36	48	33	38	48	37	55	44	41
仙石原救急隊	598	44	34	55	46	40	41	53	63	58	55	58	51
箱根救急隊	230	18	7	12	17	16	12	28	32	24	26	15	23
その他	2								1			1	

【事故種別】 (件)

事故種別出動隊別	合 計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合 計	2,018	1			114	41	9	489	3	3	1,311	47
本署救急隊	685				30	11	2	170	1	1	465	5
湯本救急隊	503				28	9		109	1	1	346	9
仙石原救急隊	598	1			23	16	7	147		1	377	26
箱根救急隊	230				33	5		62	1		123	6
その他	2							1				1

※「その他」については、P3「5 出動隊別救急出動件数」参照

表6 居住地区別搬送状況

【月別搬送人員】 (人)

		-/ •/ •													(/ •/
月 別居住地区		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合 計		1,824	133	98	151	146	132	132	169	202	156	176	155	174	
管内	居	住 者	682	55	40	46	49	44	61	63	73	59	75	54	63
管外	観	光客	816	53	39	77	54	65	51	81	93	71	78	77	77
目フト	観光	客以外	235	17	16	23	27	19	16	17	26	17	15	18	24
そ	· 0	他	91	8	3	5	16	4	4	8	10	9	8	6	10

【事故種別•行政地区別搬送人員】

(人)

居住均	也区	事故種別	合 計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行業	急病	その他
	合	計	1,824	2	書	ΛL	126	<u>害</u>	<u>技</u>	<u>傷</u>	3	<u>為</u>	1,153	35
管内	居	住 者	683	2			15	15	1	117	2	1	513	17
55 H	観	光 客	816				84			285			445	2
管外	観光	客以外	234				21	25	8	22	1	2	139	16
そ	の	他	91				6			29			56	
	管内	居住者	169				5	4		29	1		124	6
湯	管外	観光客	240				32			61			145	2
本		観光客以外	56				7	5		5		1	38	
	そ	の他	22				1			8			13	
	管内	居住者	80	2			1			19			58	
温	管外	観光客	101				12			36			53	
泉		観光客以外	23				1	3		2			17	
	そ	の他	6							3			3	
宮	管内	居住者	201				4	4	1	32		1	157	2
城	管外	観光客	178				4			75			99	
野		観光客以外	52				4	5	1	2			40	
	そ	の他	30							8			22	
仙	管内	居住者	176				4	7		26			131	8
石	管外	観光客	209				12	0		79		-	118	1.0
原	そ	観光客以外	83				2	6	7	10		1	41	16
	管内	の 居 住 者	17 57				1			4 11	1		43	1
松	官四	超光客	80				$\frac{1}{17}$			33	1		30	1
箱根	管外	観光客以外	17				6	6		2	1		2	
11代	そ	の他	16				1	U		6	1		9	
	管内	居住者	10				1			U			9	
管轄		観光客	8				7			1				
轄	管外	観光客以外	3				1			1			1	
外	そ	の他												
	,	j												

^{※「}その他」とは、外国人及び住所不明者など管内外に該当しないもの。

表7 行政地区別救急活動状况

【出動件数】 (件)

												(117
事故種別行政地区	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合 計	2,018	1			114	41	9	489	3	3	1,311	47
湯本	529				36	9		114	1	1	359	9
温泉	234	1			16	3		64			149	1
宮城野	496				12	9	2	127		1	343	2
仙石原	560				20	14	7	130		1	357	31
箱根	188				23	6		52	2		102	3
管 轄 外	11				7			2			1	1

【搬送人員】 (人)

政地区	事故種別	△ 計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合	計	1,824	2			126	40	9	453	3	3	1,153	35
湯	本	487				45	9		103	1	1	320	8
温	泉	210	2			14	3		60			131	
宮	城 野	461				12	9	2	117		1	318	2
仙	石 原	485				22	13	7	119		1	299	24
箱	根	170				25	6		52	2		84	1
管	轄 外	11				8			2			1	

表8 時間帯別救急出動件数

/	1,	. \
(/	iД	二)
١.		Γ

	事故種別	合 計	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災	運動競	一般負	加害	自損行	急病		その	り他	(計)
	区分		人 炎	害	/八 关比	文 迪	害	技	傷	<i>께</i> 급	為	心 7H	転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他
	休日	452	1			24	6	4	113	1	1	300				2
	休日以外の日	1,566				90	35	5	376	2	2	1,011	37			8
	合 計	2,018	1			114	41	9	489	3	3	1,311	37			10
	0~2	97				3			17			76	1			
	2~4	70	1			2			11			56				
	4~6	75				2			12		1	60				
時	6~8	114				7	1		20			85				1
	8~10	201				13	4		24			152	6			2
間	10~12	250				21	13	3	71		1	131	10			
帯	12~14	229				14	6	2	65			134	6			2
п.,	14~16	222				24	4	2	58	1		122	8			3
別	16~18	213				14	6	1	74	1		112	4			1
	18~20	221				5	3	1	59	1	1	149	2			
	20~22	185				6	3		46			129				1
	22~24	141				3	1		32			105				

-14-

表9 傷病程度別搬送人員

【事故種別】 (人)

	事故種別	合	火	自然	水	交	労 働	運 動 競	— 般	加	自損	急	その
傷病程度		<u>≓</u>	災	災害	難	通	災 害	競 技	負傷	害	1損行為	病	他
合	計	1,824	2			126	40	9	453	3	3	1,153	35
死	亡	31				1	1		1		1	27	
重	篤	8										8	
重	症	75				2	1		10			58	4
中	等症	609	1			39	17		133	1	2	393	23
軽	症	1,098	1			84	20	9	307	2		667	8
そ (の他	3					1		2				

【年齢区分】 (人)

傷病程度	年齢区分	合 計	新 生 児 (生後28日以内)	乳 幼 児 (生後29日~6歳)	少 年 (7歳~17歳)	成 人 (18歳~64歳)	高齢者 (65歳以上)
合	計	1,824		134	72	699	919
死	亡	31		1		3	27
重	篤	8				1	7
重	症	75		1	2	19	53
中等	等 症	609		17	10	217	365
軽	症	1,098		115	60	456	467
その	の他	3				3	

※ 傷病程度は、傷病者を医療機関に搬送後、医師が初診時に診断したもの

表10 応急処置実施状況

1210 //	ויאיייו	旦天心	かいかし																		(件)
応急処置 事故種別	応急処置 実施人員	合 計	止 血	固定	人工呼吸	心マッ	サージ うち 自動	心肺	蘇生 うち 自動	酸素吸入	気道 確保	保 温	被覆	在宅療法	ショック パンツ 血圧保持	除細動	血圧測定	聴診器聴取	血中酸素 飽和度測 定	心電図	その他
合 計	1,823	8,744	37	136				35	13	242	39	19	177			4	1,732	1,583	1,789	1,120	1,818
急病	1,153	5,551	3	3				31	12	202	35	11	5			4	1,096	1,038	1,124	836	1,151
交 通	125	643	3	53				1	1	7	1	1	28				122	114	124	65	123
一般負傷	453	2,096	25	63				1		16	1	3	128				424	363	450	170	452
その他	92	454	6	17				2		17	2	4	16				90	68	91	49	92

[※]合計数は、一人につき複数の応急処置を実施した延べ数。

表11 救急救命処置実施状況

																										(人)
枚急救命 処置		\$	気道確保	7'-					曜	日	別			時	間帯	別				傷	病	者内	訳			
	対 象	ラリチ	食エ道ア	気	静脈	薬剤投与											性	別			年	齢	区 分	別		
事故種別	人 数	ンゲアル ル	連閉鎖式	気管挿管	路確保	投 与	目	月	火	水	木	金	土	午前 (8~12)	午後 (12~0)	深夜 (0~8)	男性	女性	0 \ 19	20 \ 29	30 ≀ 39	40 \ 49	50 \ 59	60 \ 69	70 ≀ 79	8 0
対象人数	48	12	9	11	48	28	10	9	4	6	6	5	8	9	32	13	28	20		2		1	5	4	17	19
急病	41	11	9	9	41	25	9	8	3	4	5	4	8	7	28	12	21	20		2		1	5	1	14	18
交通	1	1			1	1				1					1		1								1	
一般負傷	4			1	4	1	1	1		1		1		1	2	1	4							2	1	1
その他	2			1	2	1			1		1			1	1		2							1	1	

^{※「}静脈路確保」及び「薬剤投与」については、心肺機能停止前及び低血糖に対するブドウ糖溶液の投与を含む。

[※]応急処置の「その他」とは、検温・検眼・冷却など。

表12 転送状況

【転送回数別】 (件) 労働 自損 自 運 事故種別 そ 火 水 交 加 急 然 般 動 \mathcal{O} 合 計 災害 災害 負傷 行為 競 害 災 難 病 通 他 転送回数 技 合 計 1 6 10 3 1 回 10 3 6 1 口 2 3 回 4回以上

【転送理由別】									,			(件)
事故種別転送理由	合 計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合 計	10							3	1		6	
ベット満床												
専 門 外	1										1	
医師不在												
手 術 中												
処置困難	5							2	1		2	
理由不明												
その他	4							1			3	

表13 不搬送理由別件数

(件)

_											(14)
事故	種別	不搬送理由	☆ 計	辞退(到着前)	辞退(到着後)	拒否	明らかな死亡	他車(隊)	傷病者なし	誤 報	その他
í	合	計	229	12	50	128	20	3	5	5	6
,	火	災									
自	然	災害									
7	水	難									
7	交	通	11		3	6		1	1		
労	働	災害	1			1					
運	動	競技									
_	般	負 傷	39	1	13	24	1				
t	加	害									
自	損	行 為									
1	急	病	166	10	34	96	19	2	2		3
	転	院 搬 送	2	1		1					
その	医	師搬送									
他		器 材 等 设 送									
	そ	の他	10						2	5	3

※不搬送理由の「その他」とは、上記不搬送理由に分類できないもの

表14 ドクターヘリコプター運用状況

区	分	事故種別	合 計	急病	交 通	一般負傷	労働災害	運動競技	自損行為	その他
F:	クター〜	リ要請件数	29	21	3	5				
発	À	場 本	5	3	1	1				
生地	Ž.	島 泉	8	4	2	2				
区	Ţ <u>E</u>	宮城 野	7	7						
別(亻	山石 原	8	6		2				
件	Ŕ	箱 根	1	1						
)		管轄 外								
離		本中学校	8	6	1	1				
着陸		艮 中 学 校								
場		浄水センター	7	6		1				
別(園ゴルフ場	2	2						
件		之光駐車場	11	7	2	2				
	その他(町外ヘリポート)		0		1				
		1 月	2	2						
		2 月	1	1						
		3 月	3	3						
月		4 月	3	1	1	1				
		5 月	4	2	1	1				
		6 月	4	3		1				
別(7 月	3	2		1				
件		8 月	1	1						
)		9 月	2	1	1					
		10 月	1	1						
		11 月	1			1				
		12 月	4	4						
	ターヘリ	搬送者数(人)	28	20	3	5				
居住	管内	居住者	11	8		3				
地区	左 从	観光客	10	5	3	2				
別(管外	観光客以外	6	6						
人	7	その他	1	1						

[※] ドクターへリ要請件数は29件、そのうち1件がドクターへリ到着後に傷病者が新型コロナウイルス感染症であったことから陸路搬送となったため、合計搬送者数は28人となっているもの

表15 新型コロナウィルス陽性者の月別搬送状況

【行政地区別】	(人)

【行蚁地区别	1																	(人)
月別行政地区		居住者 合計	観光客 合計	観光客 以外 合計	その他 合計	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		37	13	8	2	60	10	3	2	4	1	0	12	11	12	2	2	1
湯本	管内居住者	10				2				1		1	2	3	1			
	管外 観光客			2									1					1
	観光客以外	0																
	その他	0																
温泉	管内居住者	4					2							2				
	管外 観光客	1												1				
	観光各以外	1										1						
	その他	2					1			1								
宮城野	管内居住者			6			3			1				1	1			
	管外 観光客	3											1	1		1		
	観光客以外	3						1						2				
	その他	0																
仙石原	管内居住者	9					2	2	1				1		2	1		
	管外 観光客	1											1					
	観光各以外	4						1		1			2					
	その他		0															
箱 根	管内居住者									1			1	3	2		1	
	管外 観光客	6											5	1				
	観光客以外			0														
	その他	その他 0																

-020-